

えびいも

2

立川と語ろう 立川に生きよう
February 2009
écoutez bien Vol.27 No.291



表紙の人／高野重武(柴崎町) 写真／細江英公



鍋で味わうオツな冬



いのしし鍋

寄せ鍋に、湯豆腐、水炊き、ちゃんこ鍋。寒さと鍋は切っても切れない間柄。鍋奉行なるものが存在するように、それぞれの家庭にそれぞれの流儀や味があるらしい。肉だったり魚介だったり、そこに野菜や豆腐が加わって、湯気に向こうの笑顔を見ながらアツアツをいただくのが団欒というもの。それで終わらないから、鍋は楽しい。具材の持ち味が混じり合った汁に、ごはんを入れたりうどんを入れたり。あー、日本人で良かったとおなかをなでる。

ささやまのいのしし鍋を食べてみたくて、1年待った。「臭みがなくてとてもおいしい」と誰かに聞けば、そこはやっぱり、確かめたい。

豆腐、ねぎ、ごぼうや水菜などこんもり盛られた野菜の上に、肉が乗る。明るい赤と透き通るような白のコントラストがはっきりしていてとてもきれい。そうだ、いのしし鍋はぼたん鍋と言うんだっけ。みそ味の汁が鍋肌からフツフツと煮え立ってくる。色が変わったところで、肉をつまむ。サラッとした脂。縮まった赤身。あっさり



季節のぬた



納豆の青じそ揚げ

しているのが次々に入ってしまう。汁に沈んだ野菜や豆腐をかき集める頃には、体はポカポカ、心もじんわり温まる。いのししはタンパク質を多く含んでカロリーが低い。おいしい上におまけ付き!

ささやまの戸を開けるとまず目に入るのは、1枚板のカウンター。アラスカヒノキの黒ずんだ節目が店の歴史を感じさせる。運ばれてきたのは、納豆の青じそ揚げ。大葉で納豆を包んで揚げる。香ばしい。ネギと大根おろしを乗せて、からし醤油でいただいた。これまたポイポイ入ってしまう。次の料理は、季節のぬた。旬の立川うどをふんだんに使って、アサリと和えた一品。まもなくやってくる春を予感させる味だった。

鍋をつつくと自ずと口数も増えてくる。ご主人の趣味は天体観測だそう。夜でも暗くならない錦町で、星の写真を撮っている。ほうき星の長い尾は、チリやガスに太陽風が当たってできるのだなどと聞いているうちに、いのしし鍋の雑炊ができた。卵を落としてネギが入って……。だから鍋はやめられない。

人は誰でもどこかでつながっている



立川市自治会連合会会長 滝島 秋生さん

■滝島秋生(たきしま・あきお)昭和12(1937)年砂川生まれの砂川育ち。現役時代は写真メーカーの技術職として世界を舞台に活躍。退職後は地域活動に打ち込み地元自治会長、支部長から立川市の自治会を束ねる立場に。約50%にまで落ち込んでいる加入率の向上など、安全・安心で住みよいまちづくりのため、地域力アップに取り組み。
■芳賀敏博(はが・としひろ)／えくてびあん編集長

於：えくてびあん編集工房 写真：五来 孝平

芳賀 ものすごく基本的な質問ですが、町内会、町会と自治会は同じなんですか？

滝島 地域の団体としては同じです。今でも〇〇町会という名前が多くありますし、戦前は町会だったんです。戦時中は隣組に組織され、戦後は地方自治・住民自治の考え方で自治会になりました。私のいる砂川では昔から、冠婚葬祭に必要な器やお膳を向こう三軒両隣、5軒くらいが共同で利用する「膳碗組合」というのがありました。そういう自然発生的な地域の互助組織がもともとの母体なんです。時代や都市化とともに大きく変化してはいますけど。

芳賀 変化と云いますと……。

滝島 立川市では全世帯からみた自治会

への加入率が50%を切っています。つまり住民の半分が入っていない。自治会があっても自治会連合会に入っていない団体もあります。立川市自治会連合会としては12支部、約130自治会がありますが、加入率を少なくとも60%~70%に上げなければと、取り組んでいるところなんです。

芳賀 半分というのはちょっとショックですね。どうして？

滝島 まず独身者や夫婦だけの世帯が多いことがあります。立川市の平均世帯人数は2.15人。いかにひとり世帯が多いかです。独身や夫婦共稼ぎの人は地域とほとんど関わる機会がない。立川だけでなく東大和市や国分寺市は30%台、昭島市や府中市が40%台と多摩地域は加入

率の低いところが多い。まさにベッドタウン。ねぐらに帰るだけの人が多いということなんです。

芳賀 地域に関わらなくても生活していくのに支障はない。

滝島 何ごともなければ。しかし、起きてほしくないことですが地震などの大災害が起きた時に大変なことになります。阪神淡路大震災では倒壊家屋の下敷きになって亡くなった人がいちばん多かったのですが、救出された人のほとんどは近隣の人が助けています。地域の自治会がしっかりしているところほど犠牲者が少なかった。大災害時、消防や自衛隊もすべてに手が回るはずがないんです。行政もそのことを認識して、各自治会に自主防災組織を作るよう働きかけています。われわれも防災訓練をしています。一生懸命やっても住民の50%でしかない。

芳賀 隣近所がお互いさまの顔見知りであることは、実は大きな力ですね。

滝島 防犯ということでもそうです。5年前に砂川地域で立ち上げた「あいあいパトロール」ってご存知でしょ。

芳賀 はいはい。黄色い腕章をしたり自転車の買物かごに黄色いシートをつけている……。

滝島 最初は、近所の子どもたちを見かけたら「こんにちは」と挨拶の声かけをしようと始めました。2年前から立川市全域で取り組んできて、腕章をつけた住民が回っているというだけで犯罪の抑止力になることがはっきりしました。実際にそれで不審者が逃げて助かったという報告がいくつもあります。安心、安全のまちづくりというためには、行政や警察が何かしてくれるだろう、ではだめなんです。自分たちで街を守り、良くしていかなければ。

芳賀 自分が住んでいる地域は良い地域であってほしいですね。

滝島 同じ町内に住んでいるからお互いさまというのは昔のこと。自分の権利は主張するが義務を果たすのは嫌だという風潮はますます強くなっています。IT時代になって人と人の関わりはさらに疎遠になった。かといって、そういう人たちがまったく地域とつながりを求めているかといえば、そうでもない。自治連のホームページがありますが、ここへのアクセスは相当な数になります。みんな情報はほしい。そしてどこかでつながっていたいんじゃないかと思うんです。人は誰でも、必ず人や地域とどこかでつながっているわけですから。それをどう導き入れたらいいか。いろいろやっていますが答えは出ません。

芳賀 滝島さん自身はどうして自治会に関わられたんですか？

滝島 ずっと砂川根つきの人間ですし、若い頃は青年団、子どもが生まれるとPTAなどで地域と関わり、自治会の副会長もしました。しかし会社に勤めていましたし、30代後半から海外での仕事が多くなって。それで、現職を退いたら自治会会長をするから、と約束して降りさせてもらいました(笑)。自分でも60代はボランティアで生きて決めていたので、退職してすぐに地域の自治会長、その後支部長をやり、自治連と関わっているうちに抜けられなくなって(笑)。最近では各自治会長さんも若返ってきましたが、特に60代やそれより若い人にどんどん出てきてほしいですね。

芳賀 それが地域の新しい魅力を生むことにもなるかもしれないですね。

滝島 自治会に加入しない理由は大体、煩わしい、

役員が回ってくる、メリットがない。この三つです。神奈川県の小田原市は自治会加入率95%というところですが、ここでは自治会に入らないと市に焼却ゴミを回収してもらえない。つまり生活できないわけです。行政がよくそこまで踏み込んだと思います。自治連の広報誌が50号になるのを記念して先日、市長、市議会議長と座談会をさせていただいたのですが、立川市も行政が自治会加入を積極的に働きかけていただきたいとお願いしました。小田原市ほどでなくても、何か目に見える形でのメリットが必要な時代なのかもしれません。

芳賀 メリットがないと動かないというのは少しさびしい気もしますが、住民自身が地域を考え、行動する「地域力」はこれからますます重要になると思います。

滝島 企業で大きなプロジェクトをまとめる時は「何やってんだ」と言えればいいわけです。仕事ですから。しかし自治会は全員お互いさまのボランティアですから、頭を下げてくださいなければ動きません。私自身やればやるほど、むずかしいなと思うことがあります。しかし、あきらめては何かできない。元気を出して地道に着実に、そして時代の変化に対応して取り組んでいかなければならないと思います。本当に、地域づくりもリーダーとなる人づくりも、自治会からです。



| | |
|-------------------------------|----------|
| 多摩信用金庫 錦町支店 | 528-0511 |
| そば処 高尾亭 | 522-2710 |
| Natural Food Restaurant シエイなば | 529-5921 |
| エステランテ ロズまり | 529-3037 |
| レストランテ ラ・ポポラリータ | 527-3880 |
| 高齢者総合施設 至誠ホーム | 527-0031 |
| 毎日新聞社グループ株式会社 都下毎日広告社 | 522-6121 |
| パスタビーノ はしや | 521-3386 |
| 味乃 寿司 由 | 522-3733 |
| 株式会社 一心堂 | 527-3777 |
| す ぐ の 歯 科 | 540-2675 |
| 紙 匠 雅 | 548-1388 |
| 中華 ハルピン | 527-1809 |
| ビストロすぎ浦 | 525-9929 |
| ステーキ&欧風料理 クワトロ | 528-2983 |
| 串揚 割烹 トントン | 524-4521 |
| Pasta Frolla 立川南口店 | 540-8033 |
| レンタルスペース&雑貨カフェ 夢工房 | 843-7818 |
| パセリ ドゥーエ | 595-8366 |
| 甘味処 石や | 524-0862 |

えくてびあんの輪
立川と語ろう 立川に生きよう
えくてびあんは
リストのお店にいつもあります
今月は 錦町・柴崎町のお店です。

| | |
|----------------|----------|
| 不動産 コマツホーム | 525-5811 |
| 喫茶 キャリー | 528-2630 |
| 芹沢 ガラス店 | 522-3065 |
| かみゆい処 わ | 522-8202 |
| ファッションハウス ホマレヤ | 525-2788 |
| ジョイフルプラザ スクエア | 528-4250 |
| 酒歩 たから | 528-1510 |
| 服地・洋裁材料 藤レディース | 528-5101 |
| 純中国料理 北京大飯店 | 522-6393 |
| 田中星美堂 薬局 | 522-3913 |
| 生活雑貨 EAST END | 523-9636 |
| 特むし銘茶・海苔 菊川園 | 526-2035 |
| ジョイフルプラザ | 529-2772 |
| Cafe COLORADO | 526-2285 |
| 日本空手道 佐藤塾 | 548-7460 |
| 株式会社 立川紙業 | 527-6111 |
| Fashion You Me | 523-1640 |
| 石原 薬局 | 523-4067 |
| サイクルハウス 輪輪館 | 522-8100 |
| ビジネスHOTEL クボタ | 522-1122 |

住宅街のプティ・ミュージゼ

みんなの展示場 中村洋久絵画館

立川高校や第七小学校の南側、根川や多摩川にも近い錦町5丁目。静かな住宅街の少し奥まったところに白い小さな家がある。郵便局長などをつとめた中村洋久さんが4年前にオープンした「みんなの展示場 中村洋久絵画館」。切手や絵はがきにもなった自筆のペン画を展示するだけでなく、展示・観覧とも無料の展示場、絵画教室などの会場として開放。街の小さなアート拠点に昨年、内閣府社会参加章が贈られた。

写真：五来孝平

2階が教室会場になる。この日は絵手紙教室



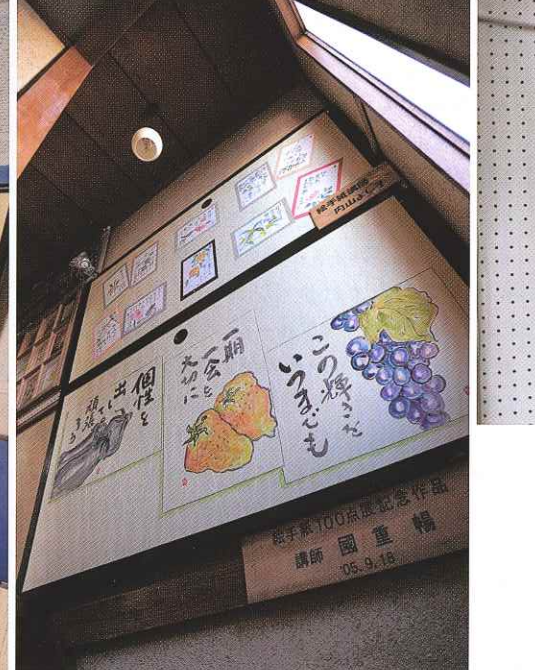
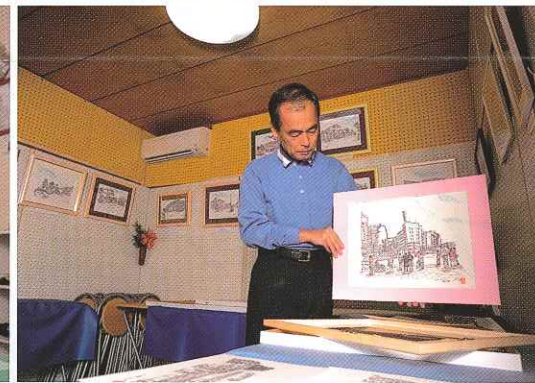
中村さんは郵政事業に長く勤め、杉並郵便局長を最後に58歳で希望退職。地域の人の集まれる絵画館づくりの夢はその2年ほど前から温めていたという。現役時代趣味で始めた風景のペン画は「中野・杉並駅前散歩」切手や、国立駅前、立川駅前の絵はがきとして発売されるなど、実力はプロ級。それらの原画を気軽に観てもらえるようにと、持ち家を改装して平成17年5月に「みんなの展示場 中村洋久絵画館」をオープンした。

郵便局長や郵政局時代の幅広い人脈や、仕事・趣味を通じた友人・仲間が、絵画館づくりや運営を助けてくれた。道路から入口までの細い通路も友人がきれいに整えてくれた。街路の曲がり角にある標識は、地域の人が作ってくれた。私財を投じて作った絵画館を周囲が「みんなの展示場」として応援している。

中村さんが描いた風景画や女子プロゴルフ選手のスケッチ等を定期的に展示するほか、希望する人の展示会も開く。また、現在絵手紙、水墨・書画、スケッチ、ちぎり絵の4つの教室が月1～2回のペースで開催され、この春には写真教室も加わる予定。こうした教室も会場費無料。教室生の発表展も開く。土・日・祝日だけの気楽な絵画館とはいえ忙しいである。当初は何も知らされていなかったという奥様も運営に協力してくれる。

「絵などを気軽に観てもらおうのが目的ですが、いろいろな相談事を受けることも多いんですよ」と中村さんは言う。定年退職後の生きがいや地域との関わり方、若者の進路相談……。「絵画館」以外にも地域の人が集まる場所の役割が生まれてくる。そうした活動を含めて、内閣府特命大臣から社会参加章を受けることにつながったのだろう。

「みんなの展示場 中村洋久絵画館」のような地域の小さな展示場やアートを、立川の市民や立川を訪れた人たちが買い物や自然を楽しみながら歩いて巡る。中村さんは今、そんなコースが立川の街にできることを夢見ている。



1階から2階への階段も展示スペース

みんなの展示場 中村洋久絵画館

立川市錦町 5-16-9
原則 土・日・祝 10:30～16:00 開館
TEL 042-524-4702 (中村さん)

立川の話題いっばい！
わたしとあなたとたちかわを結ぶ街ナビネット
多摩てばこ net
www.tamatebakonet.jp/
立川市曙町3-4-3 武藤ビル2F
TEL/042-548-9606

常楽我浄
真如苑提供番組くじょうらくがじょう
スカパーフェクTV 216ch
マイテレビ11ch
放送時間については番組表をご確認ください。
立川に育てられて七十三年
真如苑
柴崎町1-2-13 Tel. 527-0111 (代)
www.shinnyo-en.or.jp

パレスホテル立川
〒190-0012 東京都立川市曙町2-40-15
お問い合わせ、ご予約は
TEL 042-527-1111
FAX 042-527-5169
http://www.palece-t.co.jp

FM84.4MHz
FMたちかわ
おとやもとより
音楽屋元就の
多摩てばこラジオ
日曜午前 11:00~11:30
提供: えてびあん
●リクエスト・ご意見は●
tbox@fm84.4.jp

株式会社 火産社
〒190-0022 東京都立川市曙町5-17-13
tel. 042-527-1911
fax. 042-527-1949
E-mail: info@daikousya.jp
http://www.daikousya.jp/index.html

えてびあん流

藤本一美さんの山岳パノラマ集大成

『展望の山50選 関東編』刊行



『えてびあん』2006年8月号～2007年7月号に連載した守屋龍男さん案内「続・立川から見える山」に山岳展望図を提供していただき、都立砂川高校の教師としても立川とご縁のある藤本一美さんの、山岳展望集大成といふべき本が、このほど発刊された。

11月に出た『展望の山50選 関東編』（東京新聞出版局、1,524円+税）。関東地域の50座から見える山岳パノラマを正確かつ緻密に手描きした山岳展望図を満載し、それぞれの山についての解説もしている。『展望の山旅』シリーズ（共著）など多くの著書のある藤本さんだが、本書は約半数の25山を新たに取材して描いた3年がかりの力作。

写真が進歩しているとはいえ、嶺の詳細な重なり合いや、前景や眼下の雄大な眺めまでも繊細に描いた鳥瞰図を思わせる手描き展望図の味わいは格別。どの展望図にもそれぞれの山名が記されているので、なかなかむずかしいピークの同定にも役立つ。

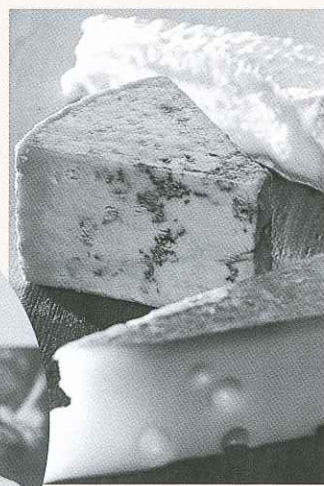
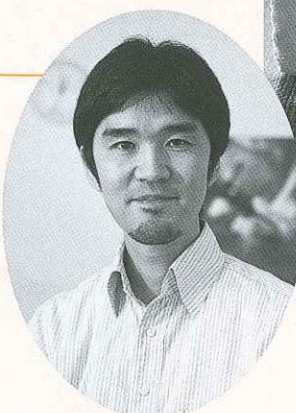
武甲山、両神山、雲取山、甲武信岳、大菩薩峠、塔ノ岳、金時山、上州武尊山、至仏岳、赤城山、筑波山など眺望で知られる著名な山から、あまり知られていない地味な山まで。ザックにしのぼせて山頂で開くもよし、本で実際に山に登った気分も味わうもよし。

この人この店 67

チャレンジショップ フロマルシェ

町田幸一郎さん

ナチュラルチーズとヨーロッパ有機認証食品の店として1年間、チャレンジショップ コラボで頑張ってきた町田さん。「お店を経営するっていうのは大変ですね」とちょっと照れた笑顔です。男性のお客が目立つお店で、年配の方もよくいらしています。今回選んでくれたのはイギリスの青カビタイプチーズ「シュロップシャー・ブルー」。オレンジ色があざやかで、青カビがきれいに入っているのが大理石みたく。青カビタイプなのに癖がないので、そのまま食べるのはもちろん、はちみつをちょっと垂らしてみたら……。やめられなくなっちゃいます。日本酒にも合いそう。もうひとつは、アッペンツェラー。スイスのハードタイプチーズです。ねっとりしたクリーム色といい、ぽこぽこ開いた穴といい、「これぞ、チーズだ！」って感じ。さっぱりしていて、こちらはやっぱりワインかなあ。コラボ交代する前に、いろんなチーズを試してみようっと。



〒190-0023
立川市柴崎町 3-8-10
TEL 042-526-7368
営業時間 11:00～21:00
月曜日定休



写真撮影：五来孝平

みどり巡り花めぐり

植物を楽しむ ①

果実酒

緑花文化士 白井治子 (写真も)



スイカズラの花

果実酒という梅酒を思い浮かべますが、いろいろな材料を使って簡単に作ることが出来ます。私の部屋の1/4は果実酒のビンに占領され、手を伸ばせばお気に入り飲める贅沢を味わいつつ、コレクションを眺めては楽しんでます。植物の葉や皮、根、花などを使った広い意味の果実酒は薬酒ともいえます。その中から2つご紹介しましょう。

まずピワ酒。かわいい黄色の実も、大きな葉もお酒になります。ピワの種子にはアミグダリンという物質が含まれ、咳を鎮める効果を持っています。風邪を引いたときにこのお酒を飲んだら、ほんとうに咳がピタリと止まりました。味はほのかな甘みとこくがあり、杏仁豆腐のような香りがします。杏仁はアズノ種子を乾燥させたもので、やはりアミグダリンを含んでいるので同じ香りがするのです。アズノ酒も咳止めの効果があるそうです。

ピワの葉酒は古い葉を使います。打ち身や捻挫などにはこれをガーゼに浸して湿布すると楽になります。私のようなおっちょこちょいにはありがたい薬酒。飲むだけではなく、こんな使い方もあります。

次に紹介するのは金銀酒。とても豪華なお酒を連想しますが、スイカズラという蔓植物の花から作るお酒です。5月～6月ごろ、多摩川の河川敷を散歩しているとかがわしい香りが漂ってきます。スイカズラの花は2つ並んで咲き、咲き始めは白く、だんだん黄色に変わってくるのでキンギンカとも呼ばれます。この花を集めてお酒に漬けると、とても香りのよい甘みのある優しいお酒が出来上がります。私は、疲れたり眠れないときこのお酒を飲みますが、なんとなくホッとして落ち着いた気持ちになり、ゆっくりと眠ることができます。浄血や利尿効果などがあるといわれます。

ただ、野外で材料を集める場合は有毒植物もあるので素人判断は禁物。専門の知識を持った人と一緒に行くとよいでしょう。採ってよい場所かを判断し、たくさんとりすぎないことも大事です。最初は果物屋さんで買ったものから、果実酒づくりを始めてみてはいかがでしょうか。

information

●緑花文化士は、毎年11月に行われる「緑・花 試験（緑・花文化の知識認定試験）」で優秀な成績をとられた方に贈られる称号です。同試験や緑花文化士について詳しいことはホームページ <http://www.midori-hanabunka.jp> で。

●国営昭和記念公園 花みどり文化センターでは、緑花文化士による「緑・花文化を楽しむ講習会」や展示会が開催されています。2月9日(月)は下田あや子さんを講師に「伝統的な文様の植物歳時記」、2月15日(日)は安田尚武さんを講師に「万葉植物とひとびとの暮らしとのかかわり」を予定。詳しくは国営昭和記念公園花みどり文化センター(電話：042-526-8787)までお問合せ下さい。

表紙の人

高野 重武さん(柴崎町)

お住まいは富士見町なのだが、この方の温かな顔に会いたければ、柴崎町・諏訪の森公園へどうぞ。10年以上、諏訪神社裏の道端に古風な石焼芋の屋台をだしている。石焼芋といっても冬のものとは限らない。夏場食べてもおいしいし、夏は焼きトウモロコシも売る。石で焼いたトウモロコシは甘みが違う。焼き芋の味は……いうまでもない。1本200円、3本500円の看板は美大出の女性客が作ってくれた。根強いファンが多いのは、おまけしてくれるからだけではないかも。

諏訪の森公園で 写真：細江英公

かたこと

本号がお手許に届くのは一年でいちばん寒さの厳しい頃。寒中お見舞い申し上げます▼同時に節分、立春と凍てつくなか春の気配が感じられてくるのも2月です▼寒いときほど温かみ、ぬくもりのありがたさが分かります。何ごともなければ空気のようなものでも、いったん大災害などがあれば互いに助け合えるご近所、地域社会はかけがえないもの▼対談させていただいた立川市自治会連合会の滝島秋生会長が強くおっしゃるのもそこ。時代に合った地域のきずなをどう築いていくか。ひとごとではありません▼VIEWでご紹介した中村洋久さんの「みんなの展示場 中村洋久絵画館」は個人が作った地域交流の場▼アートやクラフトは人の気持ちを楽しませ、心をつないでくれます。そして私財をつかってそういう場をつくりあげてしまう心意気もすばらしい▼やきもの奥の深いアートです。立川にはプロの陶芸家の方以外にも趣味の域とはいえないほどの方がいらっしゃいます▼新連載「三酒三窯」は自ら窯を築いて作陶をされる3人の方、三者三様のやきものへの思いをお伝えできればと思います。最初は柏町在住の小林玉来さんです▼昼が一日ごとに長くなり、足もとは草花の芽生え。春はもうすぐです。(芳)

スタッフ

編集 大久保清志/清水恵美子/中葉子
デザイン 池田隆男(WATER DESIGN ASSOCIATES)
AMNET design factory
写真 五来孝平

えてびあん (C) 2月号

第27巻 通巻291号
平成21年2月1日発行
発行 えてびあん編集工房
〒190-0012
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
編集人 芳賀敏博
発行人 黒須 環
印刷 (株)大廣社

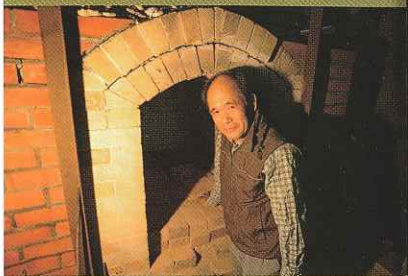
無断転載を禁じます。

さんしゃさんよう

三酒二窯

立川やきもの談義 ― 一

小林玉來さん（相町）
上



もともとやきものが好きで、国立のたましんで開かれていた武蔵野古陶会に参加し、陶芸家や彫刻家の方たちと名品を鑑賞しました。思えばせいたくな勉強会でしたね。自分でやつてみようと思った頃、やきものの基本や窯の作り方を教えてくれる人がいて、立川駅北口にあった曙画廊の勧めもあって教室形式の「万作窯」を開きました。昭和四十八年、石油ショックの年です。それ以来三十五年以上、會員のたくさんの作品を、この窯が焼き続けてくれています。

